

第3回伊賀市総合計画審議会 議事概要

開催日時	2026（令和8）年7月17日（金） 14:00～16:30
開催場所	本庁舎 4階 会議室 406
出席委員	久 隆浩 （【1号委員】近畿大学） 片桐 新之介（【1号委員】合同会社 C. SSS コーポレーション） 奥井 公子 （【2号委員】公募委員） 山本 いずみ（【2号委員】公募委員） 松山 彰宏 （【3号委員】伊賀市消防団） 奥西 利江 （【3号委員】社会福祉法人維雅幸育会） 加納 圭子 （【4号委員】 — ）
欠席委員	
議事日程	1 開会 2 あいさつ 3 議事 （1）令和8年度外部評価について （総合計画施策 No.）（施策の見出し（キーワード）） 1－3 医療 2－1 共生社会 2－4 高齢者福祉 2－5 障がい者福祉 3－6 文化・芸術 3－7 歴史・文化遺産 4－6 関係人口 4 閉会 5 その他
議事概要	1 開会 （事務局）：定刻となりましたので、ただいまから、令和8年度第3回伊賀市総合計画審議会を始めさせていただきます。 会議及び議事録公開の確認 （事務局）：会議の公開ですが、「伊賀市審議会等の会議の公開に関する要綱」第3条により、会議を公開し、会議の傍聴を認めておりますので、報道関係者の撮影等について、ご了解、ご理解をお願いいたします。 また、会議録についても公開させていただきますので、ご了解よろしくをお願いいたします。

資料の確認

(事務局)：資料は事前に郵送しております施策評価シートです。

会議成立の確認

(事務局)：会議の成立でございますが、委員の半数以上の出席をいただいておりますので、伊賀市総合計画審議会条例第6条第2項に基づき会議は成立しております。

それでは、お手元の事項に沿って進めさせていただきます。

2 あいさつ

(事務局)：それでは、会長よりごあいさつをいただきたいと存じます。

<会長>：暑い中ご参集いただきありがとうございます。今日は2日間各グループでご検討いただいたものの取りまとめを実施したいと思います。その後、書面審査をグループごとに取りまとめていただくということでよろしくお願いします。

(事務局)：ありがとうございました。以降の進行は、会長にお願いいたします。

3 議事

<会長>：第1回、第2回の実施報告を行います。グループごとに評価を固めていただきましたが、こちらを審議会の評価とさせていただきます。

<副会長>：皆さん真摯に論議していただきました。Bグループです。このシートを見ながら、また対面で各担当部署の方のご意見を聞いてということで、評価が難しかったのですが、まず消防・救急からさせていただきました、施策番号1-2からです。振り返ると、なかなかA評価をさせてもらえませんでした。成果の羅列ではなく、めざす姿にどれだけ近づくことができたかをしっかり見ようという議論が終始ありましたので、1-2の消防・救急はB評価です。

評価を通してあった意見は、CHECKとACTIONのずれでした。総合的な部分で内部評価の件、それから、施策や事業に関する具体的なアドバイスも出ましたので明記させていただきました。

続いて、上下水道の方です。上下水道も、予算の中で実施していることはよく分かり、伝わってはきますが、やはりCHECKの際にアウトカムが見えなかった、そのため具体的な課題も見えづかったので、CHECKもACTIONもB評価です。

続いて、3－4 学校教育ですが、たくさんの事業を打ち立てて、そして予算化して、成果を上げていただいているのは分かりますが、このチェックシートから見ると、不十分な記載になっているということでB評価です。こどもたちの学力がなぜ伸びないのかなという具体的なことも含めて議論がございました。

続いて、3－5の生涯学習も同様に「事業を実施しました」というような検証になっていましたので、その後どうだったかということが欲しいというところと、一番議論になったのは、図書館で、昨年度完成し、利用者など数値を挙げていますが、図書館ができたので進捗度が100%で終わりなのかというところで、考えていただきたいという追及もさせていただきました。なので、計画通りという評価はいかがなものかという記載になっています。

続いて、7月7日の実施分ですが、2－2 健康についても、A評価できませんでした。ポイントとなる施策をもっと絞り、エビデンスが欲しいという声をいただきましたので、B評価としました。

続いて2－3 スポーツについて、まちづくりアンケートで満足度も重要度でも非常に低い施策でしたので、対面で話を伺うまでは何も考えてくれないのかと思いましたが、いろいろ話を伺うと、本当に予算が付く付かないに関わらず一生懸命考えてやってくださっている、ではそれを書けばいいのではないですかというやりとりもさせていただき、記載の問題があったかなと思いB評価です。

2－7 廃棄物では、実施した事業を書けばいいと思っているようなシートで、事務局の方へシートを書くレクチャーをきっちりとしてほしいというお願いもさせてもらいました。実施している事業とめざす姿をどうつなげてきたかを、内部評価でもっとして欲しいという評価をさせていただきました。

最後に、4－2 農業・林業はシート2枚で多岐にわたっておりましたので、施策を絞って欲しいということと、100%完了という事業は、何が100%なのかということも不明確なまま終わっていますので、私たち一般市民が見るときに、市の農業・林業がどういうふうに取り組まれているのかを的確に確認したいという意味も込め、B評価としました。

<会長>：Bグループの結果を前回口頭で聞かせていただき、同じような議論をさせていただいたのだなということを思いましたが、今日この評価シートを見て、改めてそのことを強く再確認しました。

Aグループは全体として、(3) 施策の進捗状況については、少なくともB評価以上になっているかなと思います。

市の皆さんには、個々の事務事業について、一生懸命に取り組まされていますし、その効果も確認できるのではないかなというところで、(3)については好意的な評価をつけていただいた一方で、(1)効果検証の適正性や、(2)事務事業改善案の妥当性については、なかなかA評価がついたものがなく、BないしはCという評価になっているかと思います。

事業は着実に実施していただいているものの、めざす姿にどういうふう近づいているのかが、評価シートからは見えにくいということや、KPIを設定している項目で、この数値を上げていくとめざす姿に繋がっていくというロジックがなかなか見えにくいということ、KPIについてすでに達成しているものもありましたので、上方修正をしていただいたらどうかということもあり、効果検証の適正性については、厳しめに評価をいただいたかなと思います。

また、(2)事務事業改善案の妥当性についても、課題の洗い出しであまり具体性が認められないということや、課題については指摘があったとしても、その解決のための改善策について、具体的な検討が見てとれない、ACTION欄に少なくともその記述がないなどもあり、厳しい評価がついたかなと思います。

1-1 防災・危機、3-1 こども、3-2 人権・平和については今お話しした通りですが、3-3 同和について、評価シートでは、具体的な記述が見てとれなかったものの、お話を聞いていると、担当者の方が大変熱心な方で、そういうことを考えになって事業されているのですねということがよく伝わってきて、お話伺えてよかったですねというのが全体の空気だったかなと思います。そういったこともあり、皆さん、3項目すべてにA評価をつけていただきました。今回の中ではかなり特出すべき施策だったかなと思っています。

2日目になると、また同じような傾向が見えてくるのですが、2-11 公共交通については、かなりCHECK欄が詳細に記述をいただいていたところでした。どういう事業を実施して、それについての反省点がどういうところかということについて、かなり詳細な記述をしていただいていたので、全体として、高評価になっています。ただ、ACTION欄についてはざっくりとではなく、具体的な形で改善案提示していただきたかったのですが、全体としてはかなり具体的にご検討をいただいているようなので良い評価がついているかと思います。(1)(2)はB評価が多く(3)もB評価が多いです。

差し支えなければ、各グループのリーダーからご報告させていただいたこの評価を、審議会全体の評価ということにさせていただければと思いますが、よろしいでしょうか。

— 異議なし —

委員の皆様に見ていただいてご意見をいただく機会がありますか。

(事務局)：審議会の意見としては皆さんのトーンを合わせて記述していますが。各回でいただいた意見は報告書外でまとめ、各部局にお渡しします。

いただいた個別意見について、お名前は伏せますが審議の内容として公開します。

<会長>：意見はすべて公表されるということですね。

<副会長>：私たち委員の方もそれぞれの立場や考えで臨んでいますので、相反する意見があったと思います。その辺はどのような調整がされていますか。

(事務局)：評価に対する評価ですので、審議会としてB評価であればC評価の意見があってもBの評価を報告書に記載します。

<会長>：Aグループ、Bグループそれぞれのリーダーが意見のすり合わせをした際に、この意見で良いかと確認をしていますので、そこでの代表的な意見を記載させていただくようにしたいと思います。個別の評価や所見は会長・副会長に一任していただき、全ての意見は担当課に見ていただき市民に公表することをでよろしいでしょうか。

至らぬ点はあると思います、評価の仕方については色々と意見をいただきたいと思います。

では、書面審査の評価をしていただきたいと思います。

— 会場移動 —

1-3「医療」

<副会長>：では、書面審査を始めさせていただきます。1-3「医療」の施策評価シートをご覧ください。

めざす姿で「身近なところで医療を受けることができる」とありますが、医療は多岐にわたりますが、赤ちゃんを産むことができなくなっているみたいです。大変だろうと思います。

<委員>：産科は全国的に少なくなっています。なり手がなく取り合いになっています。他市では、お産センターで助産師が支援する体制があるケースもあります。

＜副会長＞：皆さんB評価が多いようです。いろんな施策をしていることは見て分かります。

＜委員＞：課題に対して具体的な案が明示されてないと思いますので、（２）事務事業改善案の妥当性はB評価で良いと思います。

＜副会長＞：効果検証はA評価、進捗についてはA評価でいいですか。１－３「医療」についてはこれで終わらせていただきます。

２－１「共生社会」

続いて、２－１「共生社会」です。A評価が多いようです。地域福祉ネットワーク会議で温度差があるということが気になりました。

＜委員＞：実施したことしか書いていないので、その成果としてどのように共生につながっているのかが書けていないと思います。

＜委員＞：連携とありますが、どういう連携をしているのか。複数の課題を持たれている家庭も多いので、福祉だけでなく税金の未納など、市として包括ケアで同情報を共有するか、どこまで理解して連携に落とし込んでいるかを書いていただかないといけません。

＜副会長＞：地域福祉ネットワーク会議でどのような具体的な取組が出てきたのかACTIONに書いていただければいいのですか、あまりないです。

高齢化が進んでいるので、支え合いは行政任せではなく地域の中ではないといけないので、行政が音頭を取ってほしいと思います。

＜委員＞：おそらく社会福祉協議会と担当課は頑張っていると思いますが、地域コミュニティに落とし込めていないと思います。

＜副会長＞：コーディネートするのは行政です。取組を書いてほしいです。

＜委員＞：自治協の中でも温度差があると思います。

＜委員＞：見やすいとは思いましたが、ACTIONだけ気になりました。

＜副会長＞：効果検証はA評価、改善案の妥当性はB評価、進捗状況はA評価で良いですか。

＜委員＞：地域の温度差が解消されてこそA評価かなと思います。

＜副会長＞：B評価でいいですか。

自治協等と連携ができていけるかが見えるシートであってほしいと思います。

2—4「高齢者福祉」

続いて2—4「高齢者福祉」です。B評価が多いですね。

＜委員＞：ケアのサービスをどれだけ提供できたかしか書かれてないです。めざす姿は「自分らしく暮らすことができる」ことです。福祉サービスの提供だけでは自分らしく暮らすことができるわけではないので、就労や社会参加や学習参加など生活全般でいきいきと輝いて暮らせないと自分らしく暮らせない。そこは担当課ではないから追いかけていないのではないのでしょうか。

＜委員＞：まちづくりアンケートの満足度が2.41と低いので、上げる施策が見えません。

＜委員＞：市の職員が動いておられることが、対象者のニーズから離れているという現実があります。相談窓口のことしか書いていませんが、相談の後のACTIONが大事です。

＜委員＞：基本事業④「介護保険サービス」の指標について、ケアマネジャーが増えるということは、すでに資格のある人や職場異動でなる人もいる人もいるわけなので、この指標で効果を測ることは違うと思います。来年度の介護報酬の改定でケアマネジャーになるハードルが下げられます。見直した方がいいと思います。なぜケアマネジャーになりたがらないのかなど、他に抽出すべき課題があります。

高校生に魅力を発信しても、なれるのは何年か後です。今資格を持っていてもケアマネジャーになっていない人や、事業所内でケアマネジャーとして働くことで報酬が下がったりするので、その支援をするなどが課題ではないかと思います。

＜委員＞：本当は国がすべきところですが、市で補填できるところもあるので、独自に頑張してほしいです。

＜副会長＞：効果検証はB評価で、改善案の妥当性もB評価、そもそも満足度が低いので、上げてもらいたい。進捗についてもB評価です。

2-5 「障がい者福祉」

よく似た視点で次の2-5「障がい者福祉」を見てもらいたいと思います。

＜委員＞：自分らしく暮らせていることが全体からは見えません。いろんな障がいがありますが、どうしていくかのアクションが見られないです。

＜副会長＞：サービスと相談に特化しています。

＜委員＞：相談されやすいようになってきたのはいいことですが、相談の後どう対応したかを指標にしていいただけたらいいかと思います。

＜委員＞：相談に来れる人はいいいですが、相談に来れない人に対してはどう考えているのでしょうか。

＜委員＞：顕在化してくるぐらいPRができたとは好意的に解釈できます。相談の中で解決したという満足度は判断しづらいです。

＜委員＞：仕事そのものが大局的に見ていません。自分たちが与えられた仕事を真面目にやっていくことが目的化しています。

本当は、障がいがあろうとなかろうとみんなが幸せに暮らせる社会をつくりたい、その一部分を担っているはずで、担っていない部分も目配せしてほしいです。

＜委員＞：新たな課題の中にもサービス需要が依然として高く近隣で利用できないといったことがあり、めざす姿を達成できていません。サービスを使えていないということを課題として捉えるべきだと思います。

＜委員＞：障がいを持っている方は自分の役割を求めています。それぞれが役割を持てる支援が基本だと思います。

＜副会長＞：（１）はA評価、（２）はB評価、進捗もA評価ですが、（２）で先ほど言っていたような課題が挙げられます。

当事者の話を聞く機会がありますよね。

＜委員＞：相談で話を聞いています。

＜委員＞：聞き方の問題だと思います。

＜委員＞：困っていることだけではなく、どのように暮らしたいかを聞かないと夢や思いは語れないと思います。

＜委員＞：ケアが必要な人だけにケアを充実させるという視点しかないので、社会構造を変えていく意味でケアが必要なくなるという視点も必要です。

＜副会長＞：担当課だけの問題ではないですね。高齢者福祉にもつながります。できないことを助けるだけではないということですね。

3－6「文化・芸術」

続いて、3－6「文化・芸術」です。

＜委員＞：めざす姿にあるように、文化の力で「ひと」と「まち」を育んでもらわないといけないのですが、事業の評価ばかりですので、B評価としました。

＜委員＞：そもそも事業はこれでいいのでしょうか。文化の力で人とまちを育む、そのために芭蕉の功績を普及する。それだけではないと思います。

＜委員＞：興味のある人のみを集めているので、興味がない人にどうつながっていけるかが大事です。アートは私に関係ないという人たちを集めて

＜委員＞：歴史・文化遺産と文化・芸術がリンクしている取組が見られません。

＜副会長＞：B、C、Cですかね。課題がないとは思っていないと思いますが、課題があると書かれていませんし改善案もないので評価できません。

＜委員＞：数値的にクリアしているならまだしも、できていないのに課題が抽出されていません。

3－7「歴史・文化遺産」

＜副会長＞：未来に引き継いでいくということは次の世代にということと思いますが、そういったことが読み取れません。

＜委員＞：文化財については、自分たちのものという意識になっていないと思います。なので補助金に頼る必要があります。市民が心から大切だと思っていたら寄附をすると思いますが、そこまでいっていないと思います。

＜委員＞：A、B、Aですかね、ソフト事業についての言及はあり、見直しをすると書いてくれていますので。

＜副会長＞：市民に伝えたいことですので、記載を考えてほしいです。

＜委員＞：調査件数の数値が修正されていますが、これは目標値を達成したからなのですか。そもそも増えることが良いのですか。

（事務局）：単年の数値なのでたまたま去年多かっただけで平均では120件の目標値だと思います。

＜副会長＞：ではB、B、Bとしましょう。

4－6「関係人口」

続いて、4－6「関係人口」です。新たな課題が「若者会議は令和8年度から第5期の活動がスタートします」とありますが、ACTIONには新たな問題は発生していないとなっています。意図が分かりません。

＜委員＞：そもそも関係人口は移住とは違います。ふるさと住民登録制度が始まりますが、その人たちが地域の高校生とどのような活動をして魅力創出に関わるかまで考えないといけないです。

外の人と関わることで地域の高校生の愛着の向上を目指しているのだったらこれを具体的に書いてほしいです。

移住まで行くとハードルが高いので、関係人口として、国ではふるさと住民登録制度を今年から本格化しています。

（事務局）：施策の題名と基本事業が合っていないですが、変更することはできませんので、このことを踏まえた上で評価していただきたいです。

＜委員＞：移住者数は目標に近づいていますが、SNSでのプロモーションも費用対効果が悪くなっているので。新たな課題がないと言い切られると疑問に思います。

＜委員＞：関係人口の話は基本事業①で書いてくれてはいますが、若者のことしか書かれていません。関係人口が多くなると移住につながるの、そういったストーリーがあるなら「関係人口」というタイトルもおかしくはないです。

＜委員＞：ふるさと住民プレミアム登録があるように、関係人口は数だけでなく質も大事だと思いますので、そこを意識してどう取り組むかが見えてきません。

＜副会長＞：B、B、Bでいいですかね。

ご協力いただきありがとうございました。

— 会場移動 —

4 閉会

＜会長＞：まとめということで、今回初めての形での外部評価だったので、反省点や改善点として次回へ生かしていきたいと思います。事務局に集約していただき、今回感じていただいたことを、報告書の最後の「おわりに」に記載させていただきたいと思います。列挙するのかまとめるのかは恐縮ですが、会長・副会長にらせていただくということでご理解をいただきたいと思います。

3日間、長時間にわたり、ありがとうございました。一通りの評価ができ、充実した議論ができたのかなと考えています。より良い報告書にまとめてまいりたいと思います。

完成版をご覧ください次回につながるご意見もいただければと思いますので引き続きよろしくお願いいたします。

事務局に進行をお返しします。

（事務局）：長時間にわたりましてご協力をいただきありがとうございました。延べ3日間にわたり、今年度は初の試みの手法で実施させていただきましたが、会長・副会長から、反省するところもご指摘をいただいているところがございますので、事務局でも再度検証いたしまして、よりよい評価方法を検討させていただきます。最後に、未来政策部長の方から皆さんに挨拶をさせていただきます。

（未来政策部長）：ご審議ありがとうございました。少し振り返りを込めてお礼とさせていただきますと思います。令和6年8月5日に第1回の審議会を開催させていただいて以来、約2年間にわたりまして、13回の審議会を開催させていただきました。お忙しい中ご参加いただきましてありがとうございます。とりわけ岩崎会長には、第1回の会議のご就任の際に、第3次総合計画を作っていくところから始まっています。当時、自治基本条例改正をしております、その中で、この総合計画を市の最上位計画として自治基本条例の中に位置付けた初めて計画になるということ、伊賀

市にとって重要な計画であるということを再認識させていただきました。

そのあとも会議の運営や、論点の整理など、大変ご尽力いただきまして、昨年の8月7日には市長の方に、第3次総合計画の答申をいただきまして、ここで深く感謝させていただきたいと思います。

加納副会長様にも専門的な立場からのご助言とともに、会長をお支えいただき、審議の方向性なども整えていただきましたことについて厚くお礼申し上げます。第3次計画の策定期間中には市長交代という大きな転換点ございましたが、委員皆様のお力によりまして、昨年の9月定例議会の方で議決をいただいて、第3次総合計画が成立しました。

さらに今回は、新たな外部手法の取組ということで、審議会のご意見もいただきながら、担当課の意見も直接聞きたいという昨年の審議会でのご意見も踏まえまして、今年度、当時の思いがそのままにさせていただけたかどうかは疑問点もあったかと思いますが、担当課も入れて、できる限りの外部評価の手法ということでさせていただいたところです。

今後の進行管理に向けて、貴重なご意見をいただいた場となったのかなと思っておりますので、総合計画全体の進行管理、PDCAをまわしていく中で、過去の審議会のご意見も踏まえて、今までも積み重ねてきておりますが、今回いただいた新たなご意見も踏まえ、総合計画進行について、今後も改善を重ねながら取り組んでいかないといけないと思っています。

もう1つ、伊賀市の総合計画は、市長の任期の4年間に合わせた計画となっており、今回策定いただいた第3次計画が令和7年度から開始ということで、今年度末で2経過したということになります。そうしますと、来年度から次の計画の策定準備を始めるとということで、着手していきたいと思っておりますので、今後、それぞれの立場の方から、本市や総合計画に関心をお寄せいただきまして、またご意見等賜ればありがたいなと思っております。

最後になりますけども、岩崎会長様、加納副会長様はじめ皆様に、これまでご尽力いただきましたことを重ねて御礼を申し上げまして、皆様とのご健勝とご多幸、ますますのご活躍を祈念させていただきまして、最後になりましたが、お礼のご挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました

	<u>5 その他</u>
--	----------------------------

	(事務局)：それでは以上をもちまして、第3回審議会を終了させていただきます。
--	---

	最後に、事務局から事務連絡がございます。
--	-----------------------------

	本日は長時間にわたりましてどうもありがとうございました。
--	-------------------------------------